

学校教育目標

主体的に実践する生徒の育成

考えをつくり出す生徒

- 学び方を身に付け、自ら学ぶ生徒
- 仲間と共に学び、高め合う生徒

ねばり強くやりぬく生徒

- 善悪を判断し、基本的生活ができる生徒
- 仲間と励まし合い、鍛え合う生徒

思いやりのある生徒

- 仲間を思いやり、仲間と共に働く生徒
- 自らを律し、他者を理解する生徒



西部中魂
西部中宣言

『目を輝かせ 歯をくいしばり 胸をはって』

- ・何事にも日常から全力を尽くし歴史を築く
- ・小さな力を集め、大きな力を成して、先輩の思いを受け継ぐ
- ・思いやりの心・言葉をもって接し、温かい学校を創り上げる

新しい時代に生きる子供たちに必要な力

- ・実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能（何を理解しているか、何ができるか）
- ・未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力など（理解していること・できることをどう使うか）
- ・学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性など（どのように社会・世界と関り、よりよい人生を送るか）

市の方針と重点

基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲や態度を育てる。

全国及び県における学力学習状況調査の結果から

- ・支援が必要な生徒が 15%程度いる。
- ・筋道や論理を立てたり相手意識を明確にしたりして表現することが弱い。
- ・語彙が少ない。
- ・家庭学習における復習の取組が弱い。

授業の様子等から

- ・授業に落ち着いた雰囲気に取り組んでいる。
- ・活発に挙手発言できる生徒も多い。
- ・自分の考えを自信をもって語る事ができる生徒が少ない。
- ・指示されたことには取り組むが、自分から調べたり質問したりする主体性に弱さがみられる。

研究主題

仲間とともに確かな学力を身に付けるための学習活動の工夫

研究仮説

学習集団としての規律を整え、個々の学習が深まった段階で、仲間とともに学び合う交流の形態を工夫すれば、主体的に学ぶ集団と学びを深め合う授業になり、確かな学力が身に付くのではないかと。

研究内容

主体的に学ぶ集団と学びを深める授業づくり

【研究内容1】・・・主体的に授業に向かう学習集団づくり

- (1) 基本的な学習規律や学習習慣づくり（PNT-OK、授業前学習）
- (2) 聴き方・話し方指導の工夫

【研究内容2】・・・学びを深める授業づくり

- (1) 願いや思いをもって、学ぶよさを自覚する交流の場の工夫
 - ア. 学習意欲を高める導入の工夫
 - ・既習事項の活用、新たな気づきや説明できないズレの表出
 - ・学習状況の把握、意思表示のための手だて
 - イ. 交流の形態の工夫
 - ・ペア・小集団・スクランブルの効果的な活用
- (2) 一人一人が学び、伸びを自覚する終末の工夫
 - ア. 学習内容を整理してまとめる場の工夫
 - ・書く、話す、練習問題で確認する

* 本年度の重点